



『命のビザ』 朗読劇で描かれる物語



立ち見も出るほどの満員の会場で、杉原千畝氏の半生を描いた朗読劇が『きらりの会』により行われました。

「行政だけではない、町民自ら杉原氏の偉業を伝えていきたい」と立ち上がったメンバーの朗読は、観客の涙腺に確実に訴えかけながら幕を閉じました。会場は拍手が鳴り止まないほどのステージとなりました。

訪れた町民は、「素晴らしい朗読劇で大変感動しました。今まで知らなかった杉原氏の苦悩や、奥様の心情に触れることができたと思います」と興奮覚めやらぬ様子で話していました。

◀朗読劇の様子(上)と、幕が下り一輪花を贈られるメンバー(下)



消防積載車 秋晴れの下での引渡式



本年度、第六分団に配備される小型動力ポンプ付き積載車の引渡式が、役場防災センター前で行われました。

「消防団が出動する機会はないに越したことはないが、万一の事態には新たな消防車で活躍していただきたい」と来賓あいさつがあり、続いて町長から代表者へ積載車の鍵が引き渡されました。

代表の後藤班長は力強い面持ちで謝辞を述べ、団員も真新しい車体を前に気持ちを引き締めていました。

消防車の鍵が渡され(上)、真新しい車体の前で決意を新たにしました(下) ▶



大きく育て！ JTB記念植樹



▲「大きくなってね」と願いを込めて、一本一本大切に植えました

めい想の森にて(株)JTB創立100周年記念事業の「JTB地球いきいきプロジェクト」が開催され、約200名のJTBグループ社員と名古屋の地域のみなさんによって、桜の植樹が行われました。2012年に始まり、5年目を迎えた今年が最終年。これまで200本のソメイヨシノの苗木が植えられました。

社員らは杉原千畝記念館にも訪れ、杉原氏の偉業を学び、人道に関する講話を聞くなど、命の大切さについて学びました。

また、当日は参加者から「杉原千畝記念基金」および「リトアニア杉原記念館修繕募金」に対して、合計61,610円をいただきました。ありがとうございます。